

おんじゆく

# 弘 報

第 10 号

発 行 所

千葉県夷隅郡御宿町役場

発行者 井 上 文 吉

編集者 東 栄 蔵

印 刷 所

株式会社 阿 佐 商 会

千 葉 市 市 場 町 14

電話千葉(2) 4467-3936



○ 弘報は綴つておよみ下さい ○

空田(専) 職員 二百四十九

小川村(専) 職員 二百四十九

三手(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

津(専) 職員 二百四十九

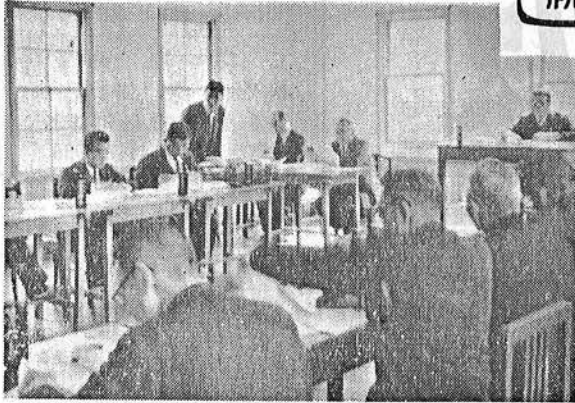


# 学校・住宅建築を重点に

議 会 か ら

## 昭和34年度予算案

### 総額 44,995 千円



昭和三十四年度予算外五議案を決める町議会が、三月十二日開かれ、各議案について始終活発な質疑応答があつたのち、全議案を可決して終了した。当日の主な質疑応答を各議案ごとに追つてみると次の通りとなる。

◇議案第一号御宿町国民健康保険条例の全部を改正する条例の制定について

町長 今回国民健康保険法の全面的改正が行われ、本年一月(写真)予算審議中の議会)

から新法律が施行されまして、これに伴い新しい町国民健康保険条例を制定し、施行と同時に現行条例を廃止するものであります。現行の条例は細かく規定してありますが、今回の新国保法は事務執行の総てが包括され、条例委任条文が少く、したがって条例の条項も簡略化されて居りまして、特に現行条例と改正条例の本質的に変つたところはありますが、運営協議会委員定数一名増加となつた点であります。

金井議員 内容的にはどう變つたのか。

助役 旧法では国保制度の全般にわたつて町条例に委任する所が多かつたのでありますが、新法では制度の重要な事項はすべて法律及び政令等に規定され必要事項についてのみ町条例に委任されているのであります。具体的事項としては国保運営委員が、医師、町民、議会から同数選任されるという事が主な点であります。

式田(雄)議員 国保運営委員の選任方法は何か規定されておるのか。

助役 法律で定められており町長が委嘱することになつてお

ります。

金井議員 附則第三項中の歯科診療に於ける、補綴とはどう云うことなのか。

助役 「入れ歯」のことです。

井上議員 第九条に別に定めるところにより、とあるがこれは何か。

助役 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

町長 合併以来各種団体の統合も順調に進んで居りましたが消防団は地域の関係上、支団制を暫定処置として採用運営して参りました処、今回幹部及び団員各位の理解ある御協力によりまして支団制を廃止し、団の一体化を期することに決定し、四月一日より実施の運びとなつたもので、第四条第二項但書にある支団制の条文の削除と、従来五百三十人の定員ものを本年から七十人減員し、設備の強化拡充に経費を充當すべく、相互の理解のもとに決定既に減員は実施されて居り、現行条例に定数の条文がないので第七条に定

員四百七十人として追加する次第で御座います。

井上議員 減員した理由は何か。

助役 消防の運営基準にも機械の種類により一応団員の数が定められておりますのでこれを参考として、本町に於ても、自動車ポンプ及び、自動三輪車ポンプは定員三十名とし、手引動力ポンプは定員四十名とした結果約七十名の減員となつたのであります。

藤江議員 減員して消防活動に支障はないか。

助役 支障はないとのことであります。

◇議案第三号 昭和三十四年度国民健康保険特別会計一時借入金について

町長 本件一時借入金は予算執行上、歳計現金不足調達のため借入するもので年度内償還が原則であります。この借入は極力さけて居りますが止むを得ず借入れする場合は議案に示す、利率日歩二銭五厘以内の最低利率である政府資金日歩一銭七厘三毛を借入れして運用するよう心掛けて居ります。

式田(雄)議員 二百万円て



たりるか。

助役 たりると思えます。

江沢議員 昭和三十三年度に於ては一時借入をしたか。

助役 利息のつく金ははしておりません。

江沢議員 これは必ず借りと云うものではないのである。

助役 そうであります。

◇議案第四号 昭和三十四年度一般会計一時借入金について

町長 本件も前号議案と同様ですが、事業費が多額のため借入れの必要が生ずることも予想されますが、そのときは前号のように処置したいと存じます。

金井議員 一時借入金となると借入先はだいたい銀行となり、利息がもつと高いのではないかと。

助役 簡保、又は恩給組合等が利息も安いのでなるべくこの方から借りるように致します。

◇議案第五号 昭和三十四年度御宿町国民健康保険特別会計歳入歳出予算

町長 国保の運営につきましては機会ある度に申し上げて居りますとおり誠に円滑で御座い

まして、関係者の御協力の結果であり、喜びに耐えませんが、

さて今回当初予算を御審議頂き

ますに当り、その概要を申し上げて参考に資し度いと思いま

す。先ず前年度当初予算に比し、総額に於て九十八万六千円

の増となりまして、この増額分は国庫補助の定率二割と新しく

調整交付金として五分程度の補助を見込み、税収の確保を期し

てこの運営を期する考えて御座います。

歳入については、保険税一世帯当り、平均二千六百五十円程度、一人当り五百五十円程度とほぼ同額でありまして、只今申し上げましたとおり、国庫補助金が本年度から年間医療費総額の二割になり更に調整交付金が総額の五分程度交付される見込であり、事務費補助分も若干増額されました。

歳出は一般的事務経費は前年度と同額程度におさえました。が医療費の値上げ受診率の増と、三十三年度実績を基準として保険給付費を計上しました。

諸支出金については納税組合に對する事務費を「百分の二」から「百分の三」に引上げ納税成

績向上を期したく考慮したものであります。

以上、概要を申し上げます。

吉野(要)議員 趣旨普及費は何に使うのか。

助役 町民に対する趣旨徹底のための経費であります。

神定議員 国保運営協議会ほどの程度の仕事をしておるのか。

助役 昭和三十三年度に於ては四回開催いたし、何かと御相談申し上げております。

新井議員 療養費の値上は法

で上つたのか、その率はどのくらいか。

助役 法律で上りました。率では御座いませぬ。診療報酬点数が上つたのであります。

式田(雄)議員 給付費の増額の理由は。 総務課長 診療報酬点数の上つたことと、受診率の上つたためであります。

式田(雄)議員 本年度も追加予算をするつもりか。

助役 昭和三十三年度は国保事業を開始してから間もなかつたので相当の追加を御願いしましたが、本年度は特別のことがなければ見込であります。

神定議員 収入に保険税の滞

納繰越金が二十一万円見込んであるが、実際はどのくらいあるか。

総務課長 実際にはこれ以上で約四十万円程度あります。

◇議案第六号 昭和三十四年度御宿町歳入歳出予算

町長 本議会に昭和三十四年度当初予算案を提出するに当り所懐の一端を申し述べまして御審議の参考に供したいと存じます。

当町も合併により新御宿町として充足以来本三月末日を以て満四十年を終ろうとしていましてこの間、建設計画の遂行についても、財政的困難を克服しその八割以上を達成、県下合併町村平均を遙かに上廻る成績を納めましたことは、即ち、住民への「サービス」向上に役立つことと信じ、ここに深甚なる謝意を表する次第で御座います。

さて本年度予算編成の方針と云いましょうか、その概要を申し上げますと、前年度に比し、総額におきまして五百一十七万円の増額で、四千四百九十九万五千円で、先ず全般的に考えられますことは、人口規模及町の財政規模に比しては大きい予

算だと云えます。

以下説明の順序は前後しますがその経費を大別するならば、義務的経費の五二・一％、投資的経費の三八・一％、公債費の六・七％で全国町村平均に比較して、投資的経費に於て三・四％を上廻り、義務的経費は平均程度で良い比率を示していますが

一面、公債費で平均を一・三％上廻っている点は町財政規模から考えますならば当然の結果と云えるのであります。

歳入について見ましても、依存財源三三・七％、一般財源六六・三％の割合で、自主財源の町税においては三三・二％という極めて低率で、この町税は全国町村平均四〇・四％を八・二％も下廻つて居りまして、色々

と町の重要施策を遂行するにはどうしても依存財源による以外には方法はないと考へざるを得ないのであります。

以上のような財源分布状態から特に本年度も義務的経費の増嵩を抑制し、投資的経費に充當すべく配意したつもりであります。先ず本年度予算に計上しました公共単独事業を申し上げますと、御手許に配付の参考資料第三表に示すとおり、岩和田小

算だと云えます。

学校改築であります。この計画は昨年度施行予定でしたが、補助及起債等の状況から延期の止むなきに至りましたので、本年度に計上したもので、本年度の方針中、危険校舎の改築は最重要施策の一つに決定されており、したがって補助及起債の枠も昨年よりは幾分明るい見透しであります。

次に町営住宅建設も第五年目で簡易耐火構造平家建て一種、二種各十戸を計上しました。この事業はすでに内定しております。補助金においては法律通り、一種二分の一、二種三分の二は交付されるわけで起債が今後の接抄となります。

単独事業としては地曳橋の改築であります。御承知の通り、町営住宅の建設、或は観光地、漁港等凡ゆる面から交通量は日々増加を辿る状態で、老朽橋で危険度も高いので是非改築したいと考えております。

次に消防指揮車の購入ですが、数年前から消防団として火災現場における迅速なる指揮統制及び消防力の近代化に伴い、その購入方を要請されて参りましたが、財政上の都合で現在迄その実現をみませんでした。この

購入と、貯水池の設置を施行したいと字じます。

以上がその主なものですが、それぞれ補助金及び起債等を相当額見込んでの計画でこのうち、起債の獲得は極めて困難が予想されます。

それは、国の地方債許可方針は勿論、事業の性格、緊急度は考慮されますが、一応交付税法によるその町の基準財政需用額を限度としておりまして当町の場合この額は二千百万円であり、現在高は、二千八百三十五万円となつているのでございます。

この点過日県と、本日提案の予算案事前協議の際指摘されましたのでございます。

歳入中、町税については国の減税方針に伴い町も当然影響を受けますが目下国会に於て審議中のため一応若干の減収を考慮の上計上しました。

前述しましたように町財政規模を相当上廻る予算となりましたことは即ち、依存財源の多いこととであり、御決定されました上は全力を盡して財源の確保に当ると共に、自主財源の向上を図り、効率的な財政運営を期するよう念願しておる次第でございます。

以上私の所懐を申述べましたが事業計画の内容、予算の細部については助役及び担当課長より説明することに致します。

金井議員 重点的に細部の説明をして頂きたい。

総務課長 先ず歳入について申し上げます。税法の改正で固定資産税の土地については一万円が二万円、家屋については一万円が三万円、償却資産については十万円が十五万円にそれぞれ免税点が引上げられました

が、本町に於てはこれによる減額はそう大きな額ではありません。町民税については本町は近隣町村と比較した場合本町に安いのではあります。所得の把握等に万全を期し、収入の確保を計りたいと思ひます。

地方交付税は少し強い計上額であります。これ以上にある見込みではありません。(と述べ以下歳入歳出共款別に説明を付す)

金井議員 消防団員報酬が人員が減つたのに同額であるのはどういふわけか。

総務課長 消防団との了解の上予算上では昨年度から減員しておりますので同額であります。

金井議員 岩田小学校のピ

アノ購入費は四十万円と聞いておつたが、本予算では二十万円となつておるのはどういふわけか。

助役 税金が免税になる関係と古いピアノを十二万円引取つてもらつたためであります。

金井議員 通学バスの経費は更に四ヶ月ぐらひは追加するの

か。助役 暫定的な処置で申し訳ありませんが御了承願ひたいと思ひます。

井上議員 質問は款毎にしてもらひたい。(これより款毎の質疑に入る)

○会費の質疑 吉野(要)議員 負担金の中には保険料も含まれているのか。総務課長 含まれております。

○役場費の質疑(質問なし)

○消防費の質疑 井上議員 裃天百枚は多分布施地区へ廻るのだと思うが、百枚ではたりないであらう。今後他の分団はどうするつもりか。指揮車を購入して運転者はどうするつもりか、本部補助金とは何か。

助役 百枚では勿論たりませんが一時には出来ませぬので

二、三年計画で序々に作りたいと思つております。運転者は消防団に於て人選するそうです。本部補助金は指揮車の車庫建設の費用に充てるつもりである。

石井議員 車検の場合には非常に費用がかかるのだが、何とか考慮してもらえないのか。

助役 修繕費と車検補助金五千円でありたい分は、各区で何んとかお願い致したいと思ひます。

式田(雄)議員 燃料費が手引に比較して、自動車が少ないのではないか。

助役 消防団の方からの要求を参考にしたのでたりと思ひます。

○土木費の質疑 新井議員 道路維持修繕費は実質的には四十万円程度ではどうしようもないのではないか、今後どうするつもりであるのか。

助役 財源の確保につとめ増額いたしたいと思つております。

式田(雄)議員 地曳橋はどのくらいのものを作るのか。

助役 まだ設計も出来ておりませんが、はつきりしておりませぬ。



式田(雄)議員 観光面からも出来る限り大きな物を作るべきではないか。

岩崎議員 町営住宅も出来た事でもあるので、自動車も通れる丈夫なものを作るべきだ。

上井議員 道路の修繕は何処をどうやると云う計画はないのか。

井上議員 常備人を置く考えはないか。

助役 一日も早くそうしたいと考えておりますが、今のところ見透しは出来ない。

君塚議員 岩和田小学校改築費は全額町の負担か。

総務課長 参考資料の附表三に示すとおりであります。

石井議員 聞くところによると岩小建設の敷地の件で、ごたごたしているとの事であるが本当か。

市東議員 地元議員としてお答します。別にごたごたはしてありません。

吉野(要)議員 岩小改築費

の起工、竣工式費が三万円であるのに、町営住宅の方は六万円も計上してある。少し多いのではないか。

計監督共に県へ委託してある関係で、之等の関係者がしばしば来町いたしますので、この接待費に充てる関係で多く計上したのであります。

岩和田小学校の改築は昭和三十四年度に於て確実に出来るのか。

補助金、起債が確定しておりますものではつきりした事は云えませんが、現在の見透しでは出来ると思えます。

御宿中学校の増築の方もなるべく早くやつてもらいたい。

岩和田小学校が終了しましたらすぐやりたいと思っております。

社会及労働施設費の質疑

吉野(要)議員 町営住宅の敷地買収代が計上してあるが何坪ぐらいか。

助役 設計もまだ出来ておりませんのではつきり致しません。

保健衛生費の質疑 (質問なし)

産業経済費の質疑

江沢議員 小型漁船の講習会に補助金を出して頂きたい。

助役 そういう申請は各漁業組合を通じて提出して頂きたいと思えます。

君塚議員 本年度は防除機具の購入について補助金はないか。

総務課長 七万円だけは出ます。

岩工観光費の三十万円については計画があるか。

助役 具体的にはありません。適当に配分したのであります。

式田(雄)議員 観光費がこれだりと思っております。七十万円増額してせめて百万円ぐらい計上したらどうか。

助役 要請額は百五十万円ぐらいあつたと思えますが、財政の都合上、やむを得ないのであります。勿論たりとは思っておりません。

財産費の質疑

吉野(彦)議員 町有林造成費の三万円は補植の経費か。

助役 そうであります。

吉野(彦)議員 町有林の管理等は或程度区長なり部長なりに委任したらどうか。

助役 前からそうしております。

統計調査費の質疑

吉野(要)議員 調査員手当が七分でたりののか。調査員の仕事は大変骨の折れる仕事であるので、打切りにはしないでやつてほしい。

藤江議員 就業構造基本調査とはどういう調査か。

助役 わが国人口の就業、不就業の基本的構造、すなわち、わが国人口のうち実際に働いている人はどのくらいあつて、どんな産業や職業でどれくらい働いているか、また、その収入はどれくらいになつてい

るか、あるいはまた、働きたくても仕事がないため職を探している失業者はどれくらいいるか、働かないでいい人はどれくらいいるかなど、国民の就業の仕方についての基本的な状態を明らかにして、失業対策、産業計画をはじめ各種施策のための基礎資料として役立てようとする調査です。

選挙費の質疑 (質問なし)

公債費の質疑 (質問なし)

諸支出金の質疑

吉野(要)議員 納税組合に対する、五分の分はこれでありか。

総務課長 三万円か四万円ぐらい足りないかも知れません。

吉野(要)議員 布施学校組

合の負担金が少し多いようだが各小学校児童一人当りの額はどのくらいか。

総務課長 御宿小学校は一人千二百円、岩和田小学校は一人千八百円、布施小学校は千六百五十円となります。

神定議員 布施学校組合の資産処理費はどこから出すのか。

助役 交際費から出しております。

神定議員 資産処理の現状はどうか。

助役 残念ながら思うように参つておりません。

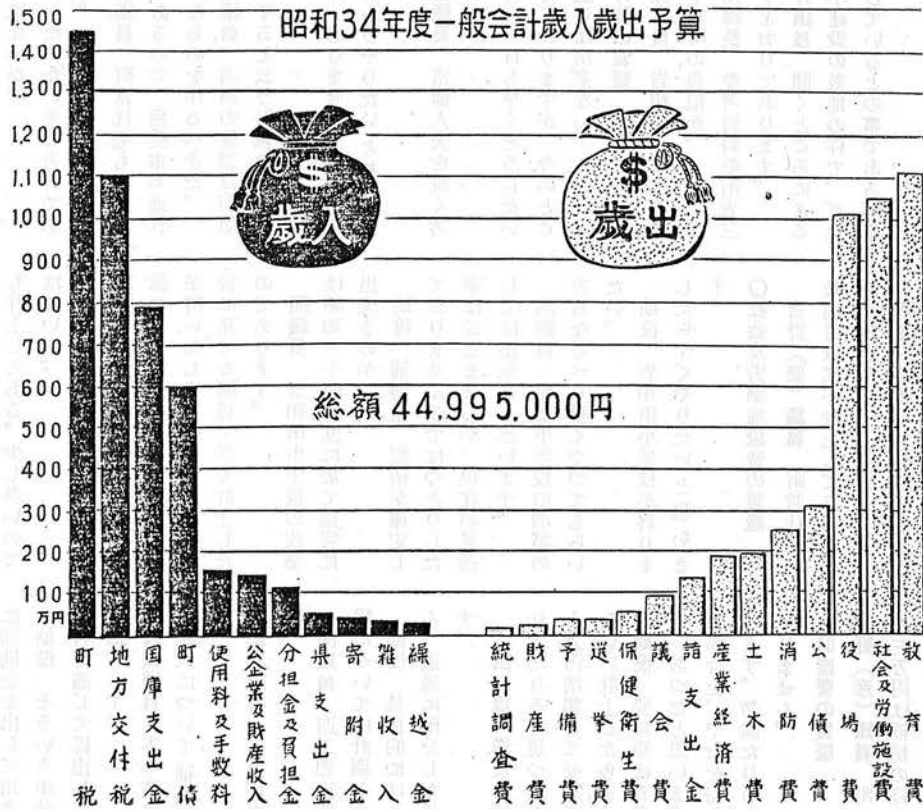
井上議員 私も今年で議員生活十二年になるが、今迄は何時の年度に於ても当初予算の五割ぐらいは追加予算が組まれていた。今少し当初に於て事業の計画が立たないのか、今年度に於て予想される事業があるのか。

助役 岩和田漁港の修築と、御宿漁港の修築があります。

井上議員 今迄はすでに手をつけてしまつた事業の追加予算が多かつたのであるが、今年度に於てはそのようなことのないようにしてもらいたい。

神定議員 事業については計画を当初に於て、はつきりと立てるべきである。

(以上を以て質疑を打ち切り採決に入り全議案共満場一致可決確定した)



昭和34年度一般会計歳入歳出予算款別内訳表

(単位 千円)

歳 入					歳 出						
款 別	区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較 増減	百分 比	款 別	区 分	本年度 予算額	前年度 予算額	比較 増減	百分 率
1.	町 税	14,497	14,590	△ 93	32.2	1.	議 会 費	805	819	△ 14	1.8
2.	地方交付税	11,000	9,370	1,630	24.4	2.	役 場 費	10,195	9,864	331	22.7
3.	公企業及財産収入	1,511	1,289	222	3.4	3.	消 防 費	2,449	2,384	65	5.5
4.	分担金及負担金	1,134	850	284	2.5	4.	土 木 費	1,954	1,229	725	4.3
5.	使用料及手数料	1,530	1,162	368	3.4	5.	教 育 費	11,149	9,996	1,153	24.8
6.	国庫支出金	7,847	7,231	616	17.4	6.	社会及労働施設費	10,594	8,613	1,981	23.5
7.	県 支 出 金	436	441	△ 5	1.0	7.	保健衛生費	576	558	18	1.3
8.	寄 付 金	400	200	200	0.9	8.	産業経済費	1,891	1,798	93	4.2
9.	繰 越 金	300	300		0.7	9.	財 産 費	173	178	△ 5	0.4
10.	雑 收 入	340	345	△ 5	0.8	10.	統 計 調 査 費	156	156		0.3
11.	町 債	6,000	4,200	1,800	13.3	11.	選 挙 費	368	267	101	0.8
合 計		44,995	39,978	5,017	100.0	12.	公 債 費	3,028	2,561	467	6.7
						13.	諸 支 出 金	1,357	1,255	102	3.0
						14.	予 備 費	300	300		0.7
						合 計		44,995	39,978	5,017	100.0



# 明るくいニユース

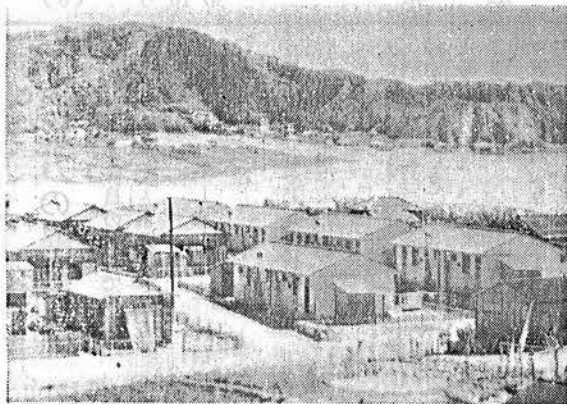
## 子供郵便局に知事賞

「お手伝いしたり、ごほ他の模範である」とこのほど布うびにいただいたお金を 施小学校子供郵便局が、千葉県大切に貯金し子供銀行の 知事より表彰されました。運営もなかなかりつばで

## 二 小 施 布

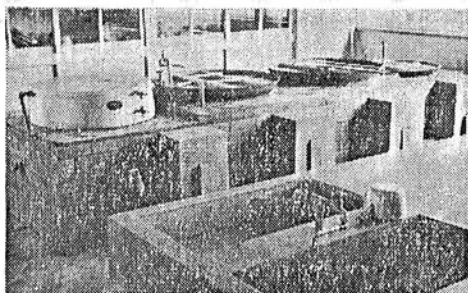
### 全児童に給食

皆んながりつばな体になるようにと、このほど父兄の協力で給食施設が出来上つた。これから始まつた給食によつて、布施小児童は他校に比べると、あろう。(写真下↓給食施設)



完成された町営住宅

地曳橋の右側に建築を急いでいた町営住宅二十戸(簡易耐火構造平家建、10.5坪十戸、8.5坪十戸)がこのほど完成した。この住宅建築は町の住宅難を解消するため昭和三十年から継続して行われ、現在ではすでに八十戸が建築され、入居者に感謝されています。「写真=町営住宅」



活発な岩和田漁協

岩和田漁業会は先に優良組合として全漁連から表彰されたがさらに、青年や婦人活動を通じて、将来への飛躍を期そうと、このほど漁協青年部並びに婦人部を結成し、すでにその目的とする、教養の向上、生産技術の高度化等に活発な活動をしており、今後の成果が期待されている。

### 竿頭授表彰を受ける

三月七日消防の日、千葉県消防大会が千葉市教育会館に關係者二千人を集めて行われた。

この席上、御宿町消防団は、規律、技能、施設共に優良である事が認められ、日本消防協会長より、竿頭授表彰を、又消防主任鶴岡栄治郎氏は消防事務優秀につき千葉県消防協会長よりそれぞれ表彰された。

### やったぞ!! 七本4日

農業改良普及事業十周年記念実績発表大会が、二月九・十日の二日間千葉市に於て、各地区4日クラブ代表三十名を集めて行われた。

本町からも七本4日クラブ(発表者吉野正)が出席し、みごと特別賞をかく得、県知事、千葉県農業協同組合中央会会長より表彰された。尚この結果、県代表として全国大会にも出場し、優秀な成績を納め、模範農村青少年クラブとして農林大臣より表彰された。

### 新消防団長に

#### 中村喜一氏

消防団長白鳥伸治氏の任期満了による、新団長の推せんが行れたが、団員の総意により、前副団長中村喜一氏が選ばれ、四月一日附で町長より任命され、新団長に就任した。

## 町内短信

- 三月三日御宿小学校学芸会
- 三月五日農業委員、実行組合長合同会議。消防幹部会議於役場
- 三月十一日役場にて区長会議
- 三月十七日県係官による公営住宅竣工検査
- 岩和田漁港災害復旧検査
- 三月二十日御宿中学校卒業式
- 三月二十一日布施小学校卒業式
- 三月二十二日岩和田小学校卒業式
- 三月二十三日役場にて民生委員会を開催
- 三月二十五日御宿町婦人会総会が御宿小学校講堂で開かれた
- 三月二十六日役場にて消防団役員会議を開催
- 三月二十八日役場にて教育委員会議
- 四月一日昭和三十四年度会計年度始まる。職員の一部に人事異動あり
- 四月五日消防団新旧役員歓送迎会於須賀区公民館
- 四月九日午前十時より町議会協議会
- 四月十五日午後農業委員会

### 先生方の異動

三月末の教職員員の異動で、次の先生方がそれと異動されました。

○岩和田小学校

▽転出 垂井みね(国吉中へ)

▽酒井寛(浪花小へ)、渡辺永生(布施小へ)

○転入 宇田川悦子(御宿小)

鈴木誠(清海小)、吉清雅男(東海小)

○御宿小学校

▽退職 吉野榮峯、瓜本那津

▽転出 宇田川悦子(岩和田小へ)、高橋久子(勝浦小へ)、

最首花子(東小へ)、御園生歌子(御宿中へ)、山田よし(豊浜小へ)、中村秀子(総野小へ)、三上きよ子(東海小へ)

○転入 永野久子(太東中へ)、吉野繁子(東海小)、田中和枝(中根小)、高橋栄子(国吉小)

幸子(国吉中)、内山理一郎(千葉大卒)、鈴木ひろ子(新戸小)

○御宿中学校

▽退職 渡辺完一、田辺良子、

▽転出 佐久間治人(勝浦中へ)

松本忠男(布施中へ)、江沢のぶ子(柏市土中へ)、大野治衛(研究生に)、伊藤隆司(興津中へ)、高梨菊代(太東中へ)

○転入 平山皓(大多喜中)、大野敏郎(大多喜中)、御園生歌子(御宿小)、市川日出夫(東中)、魚地千里(太東中)、野口雅子(国吉中)、鈴木敏(総野中)、岡村瑞枝(上野中)

自動車運転免許をとりとれる方へ

自動車運転免許試験を出来るだけ合理的に実施し、受験者に利便を興えようと云う趣旨から試験の実施日、方法等が改正されました。試験の実施日は次の通りですが、その日が祝祭日等休日になつたときは試験は行われません。詳しいことは警察へおたずね下さい。

○自動車運転試験  
1、通常試験——興試験場——土曜日及び出張試験日を除く全日。  
2、出張試験——松戸市——第一、第三火曜日。  
第三火曜日。  
館山市——第一、第四金曜日。  
○第二種原動機付自転車の運転

許可審査

1、毎週土曜日(但し第五土曜日を除く)。

### ☆小ばなし

一

刑事「しかしだね君、もう動かせぬ証拠が上つているんだよM銀行の金庫の扉についていた指紋が君のものだつてことを」  
強盗「ジョ冗談ぢやない旦那あつしはあの時、手袋をはめていたんですぜ」

二

彼氏「その猫は非常に幸福です。あなたにそうやって抱かれて。僕がその猫と同じ運命だつたら、どんなに嬉しいか知れませんか」  
彼女「そオ?、でもこの猫あんまりキリヨウがわるいからこれから捨てに行くのよ」

### 松崎さんが退職

十八年十ヶ月の長い間、役場事務に専念された、松崎興田(厚生課長)さんが、三月三十一日を以て、長かつた役場生活に別れをつげた。満六十四才であるがまだ若々しく退職がほんとうにおしまれた。



### 広 報 統 計

世界における

日本の地位

▽世界の領土の〇・三%

▽世界の人口の三・三%

▽世界の貿易のうち占める比率(一九五七年)

輸出 四・〇%

輸入 二・九%

▽世界の発電量に対し四・四%(一九五六年)

▽世界の石炭産額に対し三・〇%(一九五六年)

▽世界の原油産額に対し〇・〇四%(一九五七年)

▽世界の石油消費量に対し一・五%(一九五七年)

▽世界の鋼産額に対し四・三%(同)

▽世界の鋼消費額に対し三・六%(一九五六年)

▽世界の漁獲高に対し一六・三%(一九五六年)

▽世界の木材産額に対し四・三%(一九五六年)

▽世界の自動車生産高に対し一・五%(一九五七年)

▽世界の商船保有高に対し四・〇%(一九五七年)

▽世界の窒素肥料産額に対し九・八%(一九五六年)

▽世界の綿紡績噸数に対し七・〇%(一九五七年七月)

▽世界のレーヨン産額に対し一七・八%(一九五七年)

▽世界の合成纖維産額に対し一〇・四%(一九五七年)

▽世界の紙産額に対し四・二%(一九五六年)

▽世界の米産額に対し六・八%(一九五七年)

▽世界の小麦産額に対し〇・六%(一九五七年)

▽世界の漁獲高に対し一六・三%(一九五六年)

▽世界の木材産額に対し四・三%(一九五六年)

### 人口の動き

昭和三十年の人口動態によると、御宿町における昨年一年間の出生数は一六八人、死亡が一〇人で五人の自然増加をみ均七〇人づつ減っている。

しかしこの反面、転入三四七人に對し、転出が五三八人で、社会減一九一人となり、差引一年間に一三三人も人口が減少した事になる。この人口減少は昨年だけでなく過去七年間に年平均七〇人づつ減っている。





# 荒磯物語 (1)

鶴岡節雄

外房の御宿を「海の軽井沢」といつたひとがある。起伏する砂丘のうねり。まばらな磯馴川。坦々たる走路。騒雑に流れぬほどの町並。御宿にはたしかにエキゾチックななにかがある。そのそこはかかない哀愁をさぐつていくと、いやでもぶつ

つかるもの、それが日、西、墨三国記念塔である。晴れた日にはポーとして大空にとけこんでいるが、一旦空がくもると底光りのする銀光を發し、青竜が天に昇るのではないかと思うほど生々ともみがえつてくる。そこはかかない哀愁の焦点は実はこれなのかも知れない。

その昔の名残をしのぶことができる。その岬の東側は直接太平洋の怒濤が洗い、けわしい断崖がたてまわした屏風のように連なり、その幾々に大波月、小波月二股、田尻、小浦、長浜などというほんの申訳程度の砂浜が潮の満干にあらわれたり、かくれたりしている。断崖の一部を鳥山岬といい昔は数里にわたつて外洋に突出し、南の川津の岬とともにその両の腕に深々と網代の海をいだいていた。川津の岬をはなれた黒潮は一寸刻、五分刻に、とうとうその片腕を切り崩してしまつた。

またその鳥山岬が延々と海洋中に突き出していた頃、岬の先端には人の住まぬ古城がそびえていた。村人はその高樓に鶏鳴のおこるのを何よりもおそれた。晩間をつき、あるいは晝下りのしじまを縫つて、長い尾をひく鶏鳴を聞いたものがある。必ず大しげが始まり、陸のつくりものまでが「ガラガラに

塩枯れ、ひどいききんがおそつたからである。村人は高樓に黄金の鶏が住んでいるのだと信じていた。そんな古

老たちの昔話も今はすつかりはげしい時の流れに流されてしまつた。寸時もやむことのない黒潮の流れは岩をけずり、古城をくづして何処へともなく押し流してしまつたのだ。そして人々の知らない間に海はその前面に広大な岩礁をつくりつゝあつた。この物語はこうしてつくりあげられた岩礁がうんだ一つの史実であり、それにまつわるエピソードでもある。

その頃の岩和田は人口二百その坂をいくつもでていないのにひどく老けてみえた。峯蔵にはお千代という一人娘があつた。

峯蔵が急に老けたのは妻のお浜を亡くしてからだ。それまでの峯蔵は実によく働いたものだつた。峯蔵の家にはもともと寸土の耕地もなかつたので地主の家の野良の仕事や人にたのまれば好きこのみなしにどんな仕事でも喜んでひきうけ、せつせと小銭をたくわえた。峯蔵には夢があつた。村で地主の旦那だけしか持つていない舟がどうしても手にいれたかつたからである。それにお浜を乗せて沖へ出たかつたのだ。大きなあわびや大きな鯛もつりたかつた。峯蔵のそうした夢がやつとかなへられて間もなく海へ潜つたお浜がそのまゝ急死してしまつた。峯蔵は地主の旦那などがやつきになつて後ぞえの口も聞いたが一向にふりむきもしないで一人娘のお千代をそだて、七になつていた。貧しくとも父娘二人だけの静かな暮しがつづいていた。ところがその年の夏の終、今までのない大しげがあつた。その翌朝この一家に一人の男がひろわれてきた。お千代がまだ起きないうちに峯蔵が浜辺にうちあげられていたのをひろいあげてきたのである。氣を



お千代という一人娘があつた。

お千代という一人娘があつた。

失っているが二十前後の若者である。一見して男は土地者でないことはたしかなのだが髪は乱れ、服装も武士風でなし、といつて商人風でもなし、一向に見当がつかなくかつた。峯蔵は突然お千代にその男をだけとまるで命令するように言つた。

「海に溺れたものは人屑であつたためなければ必ず生きかえらないものだ」

お千代はお浜にそんな話をきかされたおぼえがあつてそういうものかも知れないと信じていたのだが、目の前の現実となるときまきとまごつた。お千代はまごつきながらその男のみずみまで処女の鋭敏でありますところなく観察してしまつた。

お千代がその男を自分の肩にぎつしりとだきしめたのは、その男の命をとりとめようとしただけの気持でなくもつと深い生命のつながりを感じたのかも知れない。お千代は一見してその男を愛してしまつたのだ。

こうしてお千代のところにだかれた男は一体どんな男だつたのだからか。そんなことなどまるつきりおぼえないその男はそのときこんな夢現をさまよつていた。

真帆片帆が碧い鏡の面をするするとすべるとつきつきに島かげに消えてゆく、まぎれもない瀬戸内の海、小兵衛はその音のない海が妙に物悲しかつた。女たちのあげる意味のない笑がはらわたにしみた。「女、酒をとれ」小兵衛はやりばのない切なさに手にしたギヤマンの器をつきだした。するとだらしなく艶然と小兵衛にしなだれかかつていたその女がいやに固くなつて

緑や赤の酒瓶の一つを高くさしあげると、小兵衛の前に進み出た。その酒瓶にキラキラと陽光が当たるとそれはまるで人間の生き血であつた。とみるまに女の顔が土色に変つてバツタリと小兵衛の前にたおれた。女はす

でにこときれていた。小兵衛の周囲に恐しい空虚がおとずれた。小兵衛はそのとき今までクモの子をまくように島かげへかくれて行つた帆影がみな一せいにびたりと静止するのを見た。とおもう間もあらばこそ小兵衛の船を一のみにあふりたをすの

ではないかとおもわれる大きな帆がバサバサと小兵衛の頭にかぶさつてきた。小兵衛の手は思はずがつしりと傍の火銃にかゝつていた。と、そのときであ

る。「小兵衛。小兵衛」どこからか小兵衛をよぶものがある。澄んだ懐しい声だつた。バサバサと鳴つていた帆がかき消える

とそこに父の顔が映り変つた。海賊ぐらしの長いおうのうのはてにめぐりあつた父である。小兵衛は声にならない声で父に呼びかけた。のどのおくから生暖かいものがあとからあとからこみあげてきた。

お千代のところの男はいうまでもなく小兵衛である。小兵衛が氣をとりもどしたときお千代はもうそこにいなくなつた。小兵衛は峯蔵から一切をきかされたがまだ夢のような氣がして

いた。元氣をとりもどした日の、午後小兵衛は誰にも気づかれぬようにおきだすと裏の砂丘の上までのぼつてみた。やゝ西に傾むいた初秋の陽が空一ぱいにひろがつて美しかつた。が、小兵衛はいろいろ戸迷つていた。それは或はお千代の親切を重荷に感じたためかも知れない。沖に

いた。○ 小兵衛の父は向井太兵衛といつた。さして名ある武士ではなかつた。始めは豊臣方のさる武将のもとで働いていた。いつになつてもうだつの上がらぬ下づみであつた。家康が関ヶ原で天下

の実権をとつてしまつたら太兵衛はさつさと主人から足を洗つて徳川方の武将についてしまつた。少年小兵衛はさうした父を

けいべつした。江戸幕府の基礎がかたまるとつれ、太兵衛はいつか船手頭の重職についていた。小兵衛が海賊の群に身を投じたのは一つにはさうした父に

対する反抗からであつた。太兵衛の任務は兵船の取締にあつたが、時世の安定とともにめつきり活ばつになつた関西漁民の海上安全を保護することも一つの

てきたちゑとも人がらともいえだ。太兵衛は権力を笠にきただの役人ではなかつた。小兵衛は父に対する反抗をあらゆる周囲にぶつけて生きてきた。遠い南方の国々へも何度も往き来た。女も数知れずもてあそんだ。だが小兵衛の心はすこしも

充たされなかつた。さうして何年もすきてきた。数年ぶりに帰つた鳴戸の瀬戸で思はぬドシから幕府の兵船にとらえられ、それが奇しくも父の船であつた。そのとき小兵衛ははじめて父の

すべてを知つたのだ。それもついでこの間のことだつた。「小兵衛さん」氣がつくとお千代が呼んでいた。小兵衛は

まだ峯蔵父娘に名前だけしか告げていない。「小兵衛さん。どうしてだまつているの。」さういいながらお千代は小兵衛が腰をおろしている廃舟のかけに近づいてきた。いつのまにか、さつぱりと結びあげた髪、紺緋のとうろく